

総括質疑並びに一般質問（個人質問）

【質問日】令和元年12月10日（火）

質問 順位	質問者	質問事項
8	中島由美子	<p>1 本市の特定健診、がん検診等の受診率向上に向けて</p> <p>(1) 本市のがん検診の現状は（受診目標、受診率、受診者数）</p> <p>(2) 特定健診受診率は</p> <p>(3) 人間ドックの受診者数は（国保加入者）</p> <p>(4) 特定健診とがん検診の同時受診の現状は</p> <p>(5) がん検診受診率を上げる仕組みとして「オプトアウト」の導入はできないか（厚生労働省発行「受診率向上施策ハンドブック」）。</p> <p>2 肺炎球菌ワクチン定期接種の取組について</p> <p>(1) 今年度の取組は（対象者の把握、人数、周知方法）</p> <p>(2) 65歳の方は、最後の公費助成になる。受診勧奨の徹底を</p> <p>(3) ナッジ理論で受診率向上を</p> <p>3 本市における親になるための教育について</p> <p>(1) 小中学校におけるカンガルー教育の現状は</p> <p>(2) 妊婦さんや父親になる方への教育の現状は</p> <p>(3) 幼（保）、小、中における親への教育は</p> <p>(4) 地域の教育力を高めるために</p>
9	井上勝博	<p>1 新教育長の見解を問う。</p> <p>(1) 一年単位の変形労働時間制は教員の職場で適切と思うか。</p> <p>ア 変形労働時間制の導入で教員の業務や勤務が縮減するか。</p> <p>イ 1日8時間の勤務体系が壊れることによる教員の健康被害が心配されないか。</p> <p>ウ 厚生労働省のガイドラインでは、「週の労働時間をあらかじめ定めておくことが困難な業務」は変形労働時間制を適用する余地はないとしている。教員の職場は、ガイドラインに該当するのではないか。</p> <p>(2) 就学援助費の修学旅行費について</p> <p>ア 県内で修学旅行費を事前に支給している自治体数は</p> <p>イ 修学旅行費の旅行前支給を</p> <p>(3) 不登校について</p> <p>ア 不登校の定義は</p> <p>イ 不登校の現状は</p> <p>ウ 発生原因をどのように考えるか。</p> <p>エ 薩摩川内市がとっている対策は</p> <p>2 薩摩川内市立地適正化計画案について</p> <p>(1) 国勢調査によると、すでに合併前の旧町村からの人口流出は著しい。計画案はそれを助長するのではないか。</p> <p>(2) 地域拠点に指定されると、どのような対策がとられるのか。地域拠点に指定されない地域はどうなるのか。</p> <p>(3) 居住誘導区域で約2000人の人口増を図り、人口密度を保持するというが、その分の人口はどこから生まれるのか。</p>

		<p>(4) ネットワーク形成に係る目標は、どのようにして達成されるのか。</p> <p>3 川内原発について</p> <p>(1) 川内原発上空を戦闘機、飛行機、ヘリコプター等の物体が飛行した情報を把握しているか。</p> <p>(2) テロ対処施設は、意図した航空機の衝突などを想定しているが、施設上空と周辺上空の監視体制はどうなっているか。</p> <p>(3) 国に対し、施設上空の飛行を禁止する法的規制を求めるべきではないか。</p>
10	宮里兼実	<p>1 道路等の保全について</p> <p>(1) 市道の不法投棄を防止するため、防犯カメラの設置はできないか。</p> <p>(2) 台風などの災害対策として、事前に危険箇所の木を伐採することはできないか。</p> <p>2 甑島観光の方向性について</p> <p>(1) 観光関連の企業立地の働きかけについて</p> <p>(2) 地元島民、支所、本庁との連携は、どのように機能されているか。</p> <p>(3) 甑島の特産としての椿、カノユリりの生産に思い切った方策は考えられないか。</p>
11	松澤力	<p>1 川内川や薩摩川内市の自然環境を最大限活用した本市の活性化に向けて</p> <p>(1) 川内川を活用したボート競技の更なる取組について</p> <p>ア 本市の子どもたちに、より地元の川内川に親しんでもらうため、本市の中学校においてもボート競技の普及を検討できないか伺う。</p> <p>イ 今後のボート競技の普及拡大に向けて、船艇や関連備品の充実など、更なる取組の方向性を伺う。</p> <p>ウ 第29回全国市町村交流レガッタ大会の成功と、本市における大会の経済効果を最大化させるための取組について伺う。</p> <p>(2) 本市の豊かな自然環境を更に活用した地域活性化について</p> <p>ア 地域観光の活性化や遊休地の有効活用などに向けて、グランピングについて本市の取組の方向性を伺う。</p> <p>イ JR南武線沿線の5自治体（川崎市、稲城市、府中市、国立市、立川市）は連携して「南武線おいしい風景」インスタフォトコンテストを開催し、沿線の食文化・芸術・風景・観光など様々な地域の魅力を発信するプロジェクトを行っているが、本市においても、更に近隣の自治体と連携してコンテスト等の取組を検討できないか伺う。</p> <p>ウ 川内川の水辺空間を活用して、本市を更に活性化していくためのかわまちづくりの方向性を伺う。</p> <p>2 次世代の担い手が増える魅力的な農業の確立に向けて</p> <p>(1) スマート農業への取組について</p> <p>ア 宮崎県新富町では、地元農家・行政・起業家等が連携して、ロボットやAIなど先進技術やサービスを開発するスマート農業の拠点「新富アグリバレー」が開設される等の取組が進んでいるが、本市における取組の状況を伺う。</p> <p>イ スマート農機、ICT等を活用する農業IT人材の育成や、専門的な農業知識を持つ職員の育成の方向性について伺う。</p> <p>ウ 宮城県東松島市の「(有)アグリードなるせ」のように、本市におけるスマート農業のモデルケースをつくる取組の方向性について伺う。</p> <p>(2) 農林水産物の輸出拡大に向けて</p> <p>ア 川内港の主な農林水産物の輸出先・量等の現状について伺う。</p>

		イ 農林水産物の輸出拡大に向けたインフラ整備や事業者等との連携の取組について伺う。
--	--	---